

学生がフィールドに入るということ

— 東大が果たすべき「もう一つの役割」 —

参加費
無料

開催日時

2026年 7月 29日 水 16:00~17:00 (15:30開場)

会場

本郷キャンパス・山上会館大会議室 + オンライン (Zoomウェビナー)

参加方法

会場・オンラインともに事前申込 (当日申込可)
右の二次元コードより各々お申込みください。

会場参加用



オンライン
視聴用



Program

モデレーター： 秋山 聡 東京大学副学長／社会連携本部副本部長

開会挨拶

津田 敦

東京大学理事・副学長／社会連携本部長

講演



社会と未来に「信任」をつくる — 当事者性を生み出すフィールドスタディー —

牧野 篤 大正大学地域創生学部・教授 (東京大学名誉教授)

専門：社会教育学・生涯学習論

気候変動、少子高齢化・人口減少という人口構造の変容、そして経済の行き詰まりなどの大きな社会状況を、私たちは日常生活の現場であるコミュニティで引き受けなければならなくなっている。しかしそのコミュニティが、人々の孤立の常態化でゆらぎ、人々は相互の共感や想像力による信頼感を失い、自己防衛的になって、萎縮している。このような社会にあって、改めて社会に「信任」をつくり、さらに未来に希望を持てるような取り組みが求められている。それはまた、社会の知的拠点である大学が社会に果たすべき使命の一つだともいえる。

この講義では、学生たちが地域コミュニティに入ることで、どのような影響を生み出すことができるのか、いくつかのフィールドの事例を取り上げ、「当事者性」を生み出すという観点から考えてみたい。そこでは、学生を受け入れて下さるコミュニティの住民と学生相互が変容しつつ、新たな信頼関係をつくり、自分が社会の担い手として立ち上がる姿を見ることができる。

トークセッション

牧野 篤

大正大学地域創生学部・教授
(東京大学名誉教授)



玄田 有史

東京大学理事・副学長



津田 敦

東京大学理事・副学長
／社会連携本部長



閉会挨拶

玄田 有史

東京大学理事・副学長